

学級活動（２）指導略案

2年2組27名 指導者 前之園 奈央

本実践は以下の検証を行うものである。

○ これまでの子どもの掃除時間の様子や取組を振り返らせるためにアンケートを活用し、掃除の仕方や取り組み方の大切さを理解させるために、写真を提示したり、掃除用具の正しい使い方を確認したりすることで、自分の役割や働くことの意義などを考えて、学校をきれいにしようという思いを高め、具体的な自己決定に導くことができるのではないか。

1 題材名 きれいな学校 ～ピカピカ大作戦～ (学級活動(2)ーエ)

2 題材について

日常の掃除に関心をもつことで、進んで学校を綺麗にしようという意識をもつことができる。また、上手な道具の使い方や手順等を学ぶことは、綺麗な学校になるように掃除をすることにもつながる。

そこで、本題材では、みんなで使う教室や廊下を、具体的にどのように掃除をしたら良いか考えたい。そして、一人一人が掃除に対する実践意欲を高め、具体的な取組を自己決定させていきたいと考え、本題材を設定した。

3 活動の流れ

	期 日	活 動 内 容	教師の手立て	めざす子どもの姿と評価方法
事前	5/1	1 掃除時間の様子について考える。	○ 自分の掃除時間の様子(技能と態度)についてアンケートに記入させておく。 ○ 教室の汚れているところについてセロハンテープを使って調査をする。	関掃除時間において自分の様子を想起しながらアンケートに記入している。 (アンケート)
本時	5/18	1 自分たちの掃除の様子を写した写真やアンケートの結果をもとに、学級の課題を知る。 2 掃除がもっと上手になるための工夫(技能と態度)について話し合う。 3 掃除の課題についての解決方法を自己決定する。	○ よくできていることやもっと上手にできそうなことを意識させるために、観点を押さえて見せるようにする。 ○ 具体物(ほうき・ちりとりなど)を用意し、動作化させることで、正しい使い方を理解させるようにする。 ○ これからどのようなことに気を付けて掃除をすれば良いか、自己決定できるようにするために、学習した内容を分かりやすい言葉でいくつかの項目でまとめ、そこから頑張りたいことを選択できるようにする。	関もっと綺麗にしたいという意欲をもち、発表している。 (発言) 知掃除の大切さについて考え、掃除道具の正しい使い方が分かる。 (行動・発言) 思自分にあつた掃除の解決方法を考えることができる。 (ワークシート)
事後	5/21～	1 自己決定に沿って、掃除を行い、実践カードに達成度や感想を記入する。	○ 道具の使い方や掃除の進め方をいつでも確認できるように、写真等の資料を掲示したり、頑張っている様子を称賛したりする。	思きれいな学校になるように仲良く掃除をすることができる。 (行動)

4 本時の活動

(1) 目標

これまでの掃除の仕方について振り返らせ、さっさと静かに隅々まで掃除することの大切さについて理解させ、掃除に対する実践意欲を高めるようにする。

(2) 評価規準

○ 身の周りで汚れている所があることに気づき、それを解決する方法を考えている。

【集団の一員としての思考・判断・実践】

○ 掃除に対する自分なりのめあてをもち、取り組もうとしている。

【集団の一員としての思考・判断・実践】

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、まず事前に、掃除に関するアンケートを実施し、さっさと静かに隅々まで掃除することの大切さに気付かせるための参考資料として活用する。

次に、本時では、しっかり掃除ができている場所とできていない場所の写真を提示し、様子を比較することで、掃除が行き届いていない場所があることに気付かせる。また、自分の掃除場所を想起し、掃除がしっかりできているかどうか考えた後、事前に子どもが考えていた掃除のアンケート結果について提示する。掃除がしっかりできていると答えている子どもが多いのに対して、ごみが落ちていたり、隅々まで掃除が行き届いていなかったりすることに気づき、自分の課題について考えるようにする。さらに、2年2組の教室を取り上げて、教室の中で特に汚れている所を探し、床は綺麗だけど、隅の方になると汚れが溜まっていることに気付いたり、棚の中や上、窓の枠など、掃除することを見落としがちなところもあるのだということが理解したりできるようにする。このような汚れは、放っておいたらどのようになっていくか想像したり、話し合ったりすることで、「どうにかしたい。」「掃除をしなきゃ大変だ。」という思いをふく

らませるようにする。また、ほこりは、ダニやカビなどの発生の原因になり、時間が経つと汚れがシミにもなるため、だんだん取れにくく、掃除が大変になることや、健康も害してしまうことが分かるように、写真や映像を提示する。そして、これから、掃除時間にどのような活動をしたらいいか考え、道具や時間の使い方などの意見を交流し、話し合うようにする。その後、道具を使う時に気を付けることをまとめ、いくつかの項目に分かりやすく提示して、子どもたちが課題を解決するために頑張ることの自己決定ができるようにする。また、先生の話の聞いたり、最後に自己決定したことに気を付けながら、汚れていると感じた教室の場所を、丁寧に掃除していくことで、自分の課題についての意識を高め、今後の活動で生かせるようにする。

事後の活動では、がんばりカードに、保護者からもコメントを記入してもらったり、担任も毎日見届けを行ったりすることで、子どもの意欲を向上させ、持続できるようにする。

(4) 本時の展開

時間	活動内容	予想される子どもの意識	○手立て □めざす子どもの姿
(分) ↑ 8	振り返る 1 学校内を撮った写真を比べる。 2 どのような学校にしたいか考え、本時のめあてを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 掃除をしても、こんなに汚れが残っている所があるんだな。 まだ他にも、学校には、汚れている所がありそうぞ。 きれいな学校にしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前にとっておいた子どもたちの掃除アンケートグラフを提示することで、掃除を一生懸命取り組んでいると思う人がたくさんいたことに対し、あまり掃除ができていないことに気付かせるようにする。 ○ 「自分たちの力でもっと学校を綺麗にしたいな」という意欲を高めるために、写真から、掃除が行き届いていない場所も自分たちの力で綺麗にすることはできないか考えられるようにする。
	学校をピカピカにするために、自分ががんばることをきめよう。		
↑ 27	必要性 3 教室内で特に汚い所を考え、どれくらい汚れているところがあるか話し合う。 4 このまま掃除をしないでいると、どうなるか考える。	<ul style="list-style-type: none"> 教室の中にもこんなに汚れが溜まっているんだ。 このままではいけないぞ。 目には見えないけど、ダニやカビがたくさんあるんだな。 毎日きちんと掃除をしないと、健康にも悪いぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に調査した教室の汚れているところマップや、汚れの写真を提示し、教室の中は綺麗な時もあるけれど、ゴミや汚れをそのままにしている時もあるということに気付けるようにする。 ○ 掃除の大切さに気付くことができるようにするために、掃除をしないまま放っておくと、ダニやカビなどが発生し、健康状態の悪化につながるような写真を提示する。
	解決法 5 どうすればきれいな学校になるか考える	<ul style="list-style-type: none"> ほうきの持ち方によって掃除のしやすさが違うなあ。 雑巾の使い方って大事なんだな。 棚の上や中、ドアや窓の枠も雑巾を使って綺麗にできるぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほうきや雑巾の正しい使い方と間違っただけの使い方を比べることで、掃除の仕方に気付かせるようにする。その際、掃除の仕方によって効率が良くなることが分かるように、掃除用具を使って実践する。
↑ 10	6 これから、どんなことに気を付けて掃除をしたいか自己決定する。 7 活動を通じた感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> さっさと掃除をして時間を大切にしよう。 隅々まで掃除をしよう。 自分たちの力で、学校をピカピカにするぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 身の周りで汚れている所があることに気づき、それを改善する方法を考えている。 ☑ 掃除に対する自分なりのめあてをもち、取り組もうとしている。 ○ 本時で学んだことと、これまでの掃除の取組や意識を比較し、自分なりの掃除ピカピカ大作戦を考えられるようにする。 ○ 感想を発表し合い、本時で学習した内容を実践しようという意欲を高められるようにする。
	8 先生の話の聞いて、これからの掃除に対する思いや決意を大きくする。 9 みんなで出し合った考えをもとに、教室をピカピカにする。	<ul style="list-style-type: none"> 掃除をすることで、こんなに学校みんなの役に立っているんだな。 もっとみんなに喜んでもらいたいな。 これから、一生懸命掃除を頑張ろう。 隅々まで掃除ができて気持ちがいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掃除の時間を1分でも大切にしたいという思いを芽生えさせるために、代表の子ども一人を指名し、汚れている部分を綺麗にできるまでの時間を計り、「自分ももっと掃除が上手にできそうぞ」という思いをもたせるようにする。 ○ 汚れていると分かった教室の場所をほうきや雑巾を使い、隅々まで掃除をすることで、どんどん汚れを見つけて教室を綺麗にしていくことができた達成感をもたせるようにする。